

IAUD Newsletter vol.5 第8号 (2012年8月号) 目次

- 1. 特集：住空間 PJ 仮設住宅への取り組みと勉強会開催報告・・・1
- 2. 「第4回国際 UD 会議 2012in 福岡」展示会出展説明会開催報告・・・4
- 3. スペイン UD 通信・・・4
- 4. IAUD 9月の予定・・・6

災害時の仮設住宅への提言に向けて

特集：住空間 PJ これまでの取り組みと勉強会開催報告



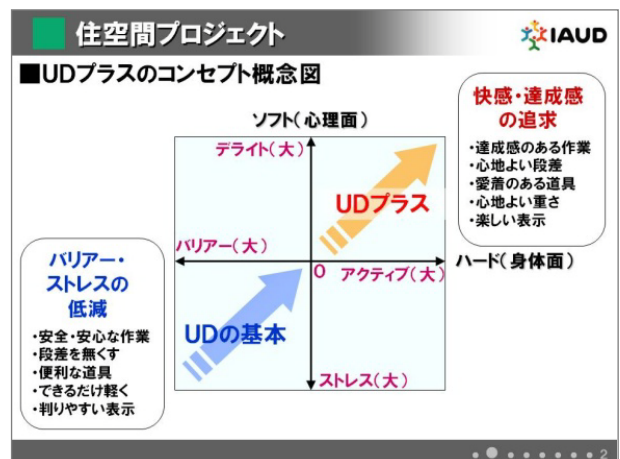
新たな UD の視点である UD プラスをテーマに活動している住空間プロジェクトは東日本大震災後、災害時の仮設住宅への提言についても取り組みを始め、これまでに仮設住宅に関する事例収集やワークショップ、勉強会などを開催し、10月の国際会議で発表できるように準備を進めています。これまでの取り組みを同PJ主査の小泉しをり氏に報告していただきます。

2012.8 仮設住宅についての勉強会

新たな UD 視点「UD プラス」とは

住空間 PJ は、誰もが心豊かに暮らせる住空間づくりを目標に、生活シーンからのアプローチによるテーマ研究を進めています。身体的・心理的に適正な負荷、すなわち刺激を与えることで、機能の低下を防ぎ向上させる「UD プラス」という新たな UD の視点にフォーカスし活動しています。

右は「UD プラス」の概念図です。縦軸が心理面の軸、横軸が身体面の軸です。段差を無くしたり、少ない力で使えたり、判りやすい表示にしたりと、生活する上での様々なバリアーやストレスといったマイナスの部分ゼロにしていく活動を UD の基本とすると、身体的・心理的に適正な負荷や刺激を与えるこ



とでただ使いやすだけでなく、「使って楽しい」、さらには心身の機能の低下を防ぐ、機能を向上させる、といった快感や達成感を追求する新たな視点を、私たちは「UD プラス」と呼び、研究を進めています。

大震災後、仮設住宅に着目



2011年3月の東日本大震災の後、住空間PJとして何かできないか？をメンバー間で話し合ってきました。住まいは生活の基本となる場所であり、今回の災害のように住まいが失われる事態が起こると、生活の場は緊急的な措置としての避難所→生活を再建するまでの仮の住まいと位置付けられる仮設住宅→復興住宅のような流れに沿って推移します。今回、私たちは災害時の住まいのあり方として、特に「仮設住宅」に着目し、

様々な事例を収集することからはじめました。住空間PJに所属するメンバーは、住宅関連メーカーやゼネコン、電機メーカーや設計事務所、個人会員まで多岐にわたりますので、各メンバーの多様な視点から様々な取り組みが紹介されました。事例の収集にあたっては、上図のようなシートを用意し、先進的な事例としての気付きや、現状の問題点、改善点などを自由に記入していきました。9名のメンバーから14案のシートが集まりました。

「仮設住宅の気付きワークショップ」開催

そのシートをもとに、住空間PJのメンバーで「仮設住宅の気付きワークショップ」を2012年5月25日（金）にIAUDサロン（東京・八丁堀）にて行いました。現状の仮設住宅の抱えるハードとしての問題点、コミュニティづくりなどソフトとしての課題、公共事業における平等性のあり方など、多くの問題が浮き彫りになりました。その中には先進事例として、2棟の仮設住宅の玄関を向い合せにすることで住戸間のコミュニケーションを生み出す工夫や、パラソルを使っての自発的な喫茶店運営、花壇を共同で管理することなど、住民が孤立しない仕掛けづくりには、これまで研究してきた「UD プラス」の考え方に通じる事例があることが浮かび上がってきました。また、寒冷地としての対応が後手になったことやベーシックな部分のUD対応がなされていないことなど、ハードな部分でも多くの問題があることを改めて認識することになりました。



2012.5 仮設住宅の気付きワークショップ

「仮設住宅への提言」に向けての勉強会開催

ワークショップの認識をもとに、2012年10月に行われる国際大会に向けて「仮設住宅への提言」としてまとめていくことになり、6月～7月にかけてメンバーでディスカッションを進めてきました。

その中で、2011年12月に衣のUDPJが開催した講演会「東日本大震災から考えるUD」で講演をいただき、阪神淡路大震災時の仮設住宅事情にも詳しい(財)ダイバーシティ研究所代表理事の田村太郎氏を講師にお招きした勉強会を開催し、これまでのディスカッションの内容と深めるとともに、国際会議で何をどのように提言していくべきかの方向性を見出すことにしました。

田村先生との勉強会は、8月7日(火)に住友林業(株)会議室(東京・大手町)で開催し、住空間PJのメンバー15名が参加しました。先生からは、東日本大震災における仮設住宅の現状や課題についてご説明いただき、次のような着目点が浮かび上がってきました。

① 住戸の課題

- ・狭い：キッチン、浴室、トイレは各戸に本当に必要か？
- ・家族の人数、子どもの年齢に応じた住戸配分
- ・収納スペースが少ない
- ・洗濯物が干せない
- ・プライバシーの問題：音が漏れる、隣戸から見える

② 団地としての課題

- ・駐車スペース、車や人の動線
- ・広場や公園、畑がない
- ・集会所以外のコミュニティスペースがない、集会所の鍵の管理
- ・買い物や通勤・通学・通院に不便

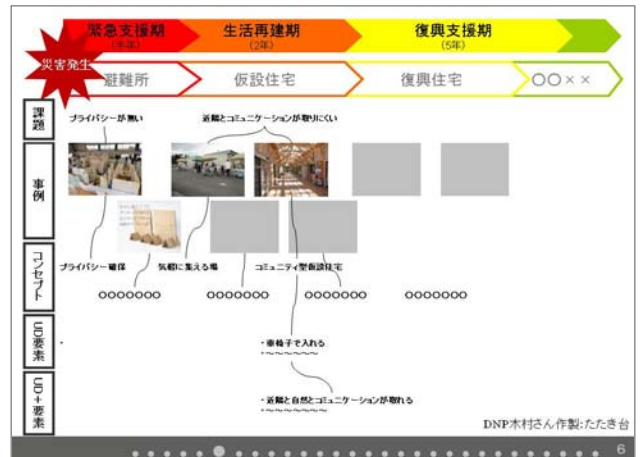
③ 孤立防止の観点から

- ・見守り活動の標準化も必要
- ・商店やNPO事務所などとしての使用も認めるべきでは？
- ・住民による改善活動の奨励：DIY的な要素の導入

国際会議に向けて

これらの課題について、9月には仮設住宅の住民の方に「これからの仮設住宅を考える」ためのヒアリングを実施して提言の内容をさらに充実させていきます。

今回の田村先生との勉強会では、仮設住宅について幅広い実情を知ることができました。これまでのメンバー間でのディスカッションの内容もふまえ、10月の国際会議で発表する予定です。(了)



国際 UD 会議併設展示会 出展説明会 開催報告



「第4回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2012in 福岡」に併設して福岡国際センターで行われる展示会の出展説明会が、8月9日(木)に展示事務局の(株)フジヤ SIA 豊洲プライムスクエア(東京都江東区)で開催されました。会場には出展する企業・団体関係者など約40名が参加しました。

←熱心に説明を受ける参加者

初めに、主催者側を代表して川原久美子 IAUD 事務局長から挨拶および展示会概要説明があり、次に(株)フジヤの井上覚氏から「出展マニュアル」に沿って詳細説明がありました。その後、質疑応答を経て、最後に展示会担当の稲場幸家理事の挨拶で終了しました。

特に、出展予定の省庁からは担当の方々が直接出席されるなど、この国際 UD 会議への期待と意気込みが感じられました。

今回の展示会では、約 160 の国内外企業・団体による最新 UD 事例・活動の紹介するほか、防衛省、消防庁等による災害対応車両および機材等を展示する予定です。(了)



↑終了後、小間配置決定の様子



スペイン UD 通信

2. 山へのアクセシビリティプロジェクト

今回はバルセロナ市役所が取り組んでいる「山へのアクセシビリティプロジェクト」を紹介します。

バルセロナ市北西にあるコジュセセラ公園 (Parc de Collserola) は、400m 程度の丘陵が広がっており、市民が気軽にトレッキングを楽しめる場所として人気があります。この公園内に今年 5 月から、障害者や高齢者、ベビーカー利用者もトレッキングを楽しめる「アクセシビリティプロジェクト」が開始したとの記事が地元新聞に掲載されていたので、行ってみました。



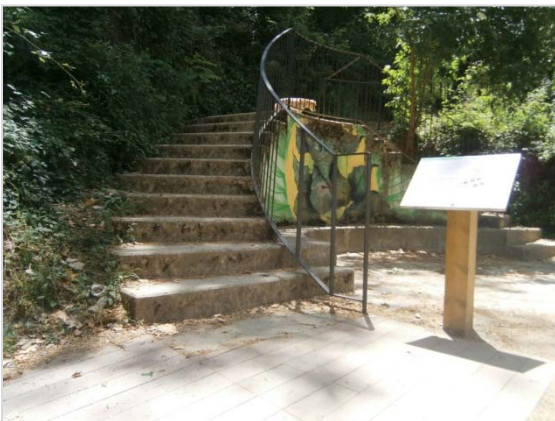


このプロジェクトは、バルセロナ市役所とスペインの銀行 La Caixa が共同で行ったもので、最寄駅 Baixador de Vallvidrera から 1km 半ほどの山道に、様々なアクセシビリティが整備されています。

バリアフリー化された駅の改札（左写真）を出ると、目の前はコジュセロラ公園の入口です。案内標識は、トレッキングコースや公園内にある樹木、野鳥の説明がすべて点字で表示（右写真）されています。



公園入口からは車いすやベビーカー利用者も通行できるなだらかな山道が 1km ほど、整備されていました。道の両脇には杖をついた人を誘導する段差も敷かれています。これらの舗装に必要な材料はすべてリサイクル素材を使用しているそうです。



さらに奥には、視覚障害者が歩きやすい手すりも設置された山道が続いていました。(了)

IAUD 2012年9月の予定

- 4日(火) 13時～ 住空間PJ定例会 (IAUD サロン)
5日(水) 13時半～衣のUDPJ定例会 (IAUD サロン)
6日(木) 14時半～メディアのUDPJ定例会 (IAUD サロン)
7日(金) 14時～ 労働環境PJ定例会 (IAUD サロン)
11日(火) 13時～ 協同事業検討委員会会合 (IAUD サロン)
15時～ 研究部会定例会 (IAUD サロン)
19日(水) 14時～ 情報交流センター会合 (IAUD サロン)
20日(木) 15時～ 運営企画会議会合 (IAUD サロン)
21日(金) 13時半～余暇のUDPJ定例会 (IAUD サロン)
14時15分～組織委員会会合 (東京・紀尾井町、トヨタ紀尾井倶楽部)
24日() 14時～ 衣のUDPJ定例会 (IAUD サロン)
27日(木) 13時～ 実行委員会 (東京・渋谷、(株)クリエイティブボックス)
15時～ 理事会会合 (同上)
28日(金) 13時～ 標準化研究WG定例会 (IAUD サロン)

メンバー募集中の研究部会・委員会はこちら↓

<http://www.iaud.net/news-f/archives/1204/17-134308.php>

次号は9月上旬発行予定

特集：アイランドシティ UD ワークショップ (予定)

無断転載禁止

IAUD 情報交流センター (IAUD サロン) :
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-25-9 トヨタ八丁堀ビル 4 階
電話 : 03-5541-5846 FAX : 03-5541-5847 e-mail : salon@iaud.net